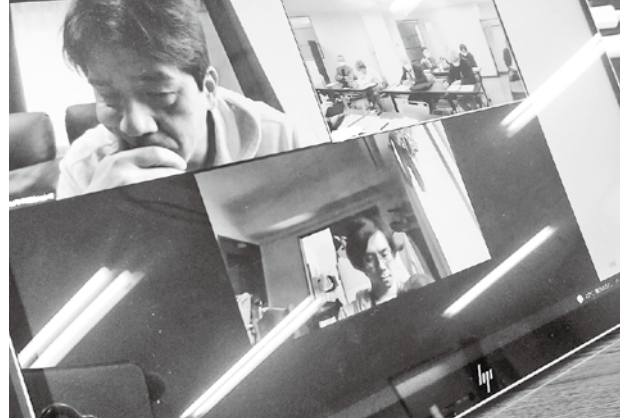




# 松陵健児

発行：2022年9月1日 能代高校東京同窓会 発行責任者：三浦洋 編集：会報誌グループ 題字：山田晃一(第42期) 印刷：株式会社毎栄



2022年の幹事会のもようを紹介します。写真上の2枚は4月9日、北区の北とびあにて。この日に初めて対面とリモートで開催しました。右はZoom画面。写真下は6月4日、中央区のグッドライフケア東京で開催した幹事会とそのZoom画面です。

## 令和4年度(2022年度)能代高校東京同窓会総会のご案内

【日時】令和4年10月1日(土)

受付 12:00～

総会 12:20～

講演会 13:00～

講師 小川孔輔さん(第40期)  
法政大学名誉教授

懇親会 13:30～15:00

新型コロナウイルス感染防止のため、懇親会はアルコールなし(ケーキとコーヒーまたは紅茶)で開催します。  
検温・手指消毒・マスク着用にご協力をお願いします。

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

【年会費】2,000円

【懇親会費】2,000円

\*お振込、または当日受付にて受領します。

\*会費の特例については6ページを参照ください。

【出欠】同封のはがきにご記入のうえ9月20日(火)までに投函していただくか、スマートフォンをご利用の方は、はがきに印刷されているQRコードを読み込んでメールフォームに記入して返信してください。

総会・講演会・懇親会の詳細は本誌6ページに掲載しています。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止または内容を変更する場合があります。

東京同窓会ホームページ <http://shoryokenji.web.fc2.com>

## コロナ禍の中で進化した幹事会

東京同窓会会長 第45期 三浦 洋

新型コロナ禍が話題になり始めた一昨年3月に開催した幹事会出席者は僅か5人。その後はZoomを利用した電子会議(以下Zoom)形式により幹事会を継続したが、参加者が固定されたことと、幹事会後に懇親会を開くことができないこともあり、同窓会の将来に不安を感じながらZoom形式による幹事会が続いた。



時を経て、幹事の皆さんが次の総会・懇親会は対面形式で開催できるのではないかと期待を抱き始めたのは昨年末であった。それまでの間、Zoom形式に対応できない幹事もいたことから、一堂に会して幹事会を開催することを目標に検討を進め、今年4月に東京都北区の貸し会議室で2年ぶりにマスクを着用した上で一堂に会する幹事会を開催するに至った。更に会場に足を運ばない幹事用にネット回線を用意し、Zoomにアクセスしてもらうハイブリッド(組み合わせ)形式とした。日頃からZoom形式で幹事会を開催していたこともあり、進行にも手間取らずにZoomで参加した二人を加えた出席者総勢14人による幹事会となった。

ネット環境が整っている貸し会議室は人気があるため予約するのが課題だったが、幹事・石井鉄美君の友人の能代北高OG珍田純子さんのご厚意により、会社の施設を提供していただけることになり、今後の幹事会がネット環境付きで開催できることになった。「窮すれば通ず」、暗中模索から始めた2年前には予想もなかった展開である。早速この6月に同施設でハイブリッド形式による幹事会を開催したところ総勢18人の出席があり、3年ぶりに条件付きながら一堂に会しての総会・講演会・懇親会(Tea Party)を開催することが満場一致で決まった。今年の懇親会はアルコールなしで計画中だが、マスク着用厳守でぜひとも校歌を合唱したいものだ。ただし控えめの声で。なお、今後のコロナ第7波の動向次第では総会中止を判断せざるを得ないことを想定し、幹事一同で総会・講演会・Tea Partyの開催に向けて準備に臨んでいる。

## 「至誠力行」の精神で

能代高等学校長 第53期 荒川 正明

東京同窓会の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より母校への深い愛情と教育活動への御理解、御協力をいただき、心より感謝申し上げます。今年4月に赴任いたしました荒川正明と申します。母校での勤務は10年ぶりになります。「すべては生徒のために」を合い言葉に気を引き締めて努めて参りますので、どうかよろしく願いいたします。



さて、今年度は、これまでの経験から学校における新型コロナウイルスとの付き合い方も変わって参りました。感染予防・感染拡大防止を徹底しながら、恐れすぎずかつ油断せず教育活動を行っております。高校生も3回目のワクチン接種が進められており、生徒会や運動部、文化部ともに昨年度よりは活躍の場が広がっております。

5月の大型連休明けの県北総体、春季全県野球大会(硬式、軟式)、全県総体、体育大会、能高祭等々、例年通りとはいかないまでも、感染防止対策を講じながら、生徒は生き生きと活動しておりました。また、ヘッドネーション等のボランティア活動に取り組んだり、SDGsを推進する「アースデイ能代2022」を企画・運営したりする生徒もおります。まさに、「至誠力行」の精神で「文武両道」を体現している生徒たちです。このような頼もしい生徒たちが母校にいることを誇りに思い、今後も教育活動に邁進して参ります。

また、関東圏には進学、就職で多くの卒業生がお世話になりますので、よろしく願いいたします。

結びになりますが、本校の生徒たちが、創立100周年に向けて新たな伝統と歴史を築いていけるよう、東京同窓会の皆様のなお一層の御支援と御協力をお願い申し上げますとともに、東京同窓会の益々の御発展と、皆様の御活躍を衷心より御祈念申し上げます。

## 風土を変える

能代高校同窓会副会長 第47期 袴田 俊英

私は藤里町の曹洞宗月宗寺の住職をしながら、もう一つの「仕事」として、自殺予防に時間を割いています。



秋田県は平成7年から19年間、自殺率が全国1位の高さでした。皆さんが東京に暮らしの基盤を置いた理由は、どのようなものでしたか? 仕事、便利さ、楽しさ、様々なことがあったと思います。では、田舎の「生きづらさ」という点ではいかがでしょう。世間体を気にする。人間関係に不自由さを感じる。田舎の常識からはみ出すことを許さない。今はやりのことばでいえば不寛容。そこから逃れたいという思いはありませんでしたか。私も学生時代、東京で暮らしました。寺に生まれ、四六時中監視されているような漠とした閉塞感から解放されたような高揚感を感じました。

この「生きづらさ」が自殺の大きな要因ではないか。

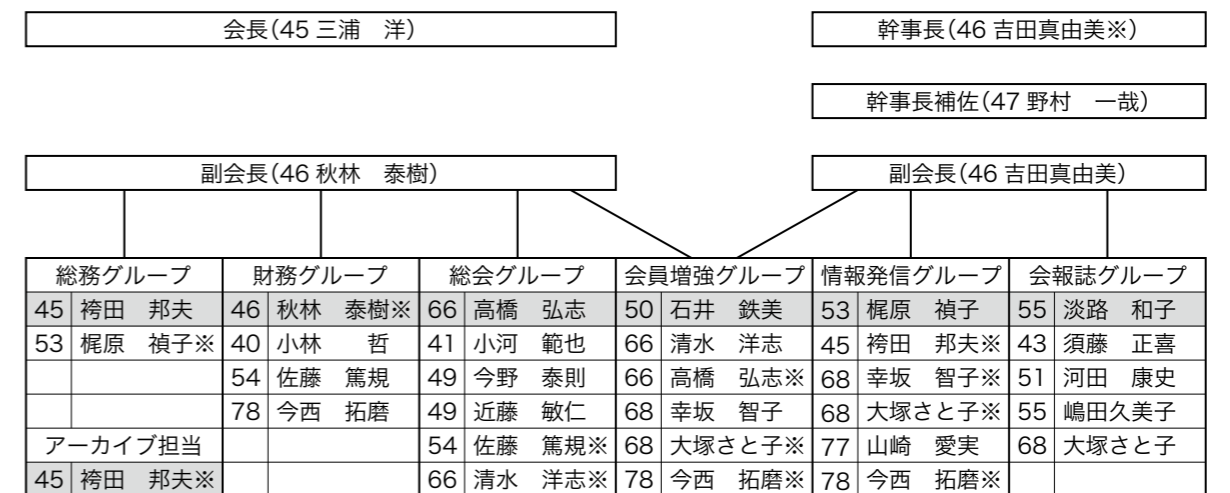
自殺予防に取り組んだ当初は「人のつながり」を作ることで孤立を防ぎ、自殺の減少を図ろうとしました。しかし、田舎の「人のつながり」自体が不寛容なものならば、却って人を追い込むものになってしまう。そこで、つながり方を捉え直していくことに活動の主眼を置きました。

それがカタチとなったのが平成22年に発足した「秋田ふきのとう県民運動」です。個別の事案に対応していく従来の自殺予防ではなく、県民総ぐるみで秋田の精神風土を変えていくという運動を展開してきました。

自殺率も下がり続け、一昨年は全国10位、昨年は自殺者は減少したものの率では7位となりました。私は、自殺予防は死のうとしている人を止めるのではなく、生き心地の良い地域を作ることだと思っています。

悪口から稿を始めましたが、田舎は安定と相互扶助の機能を持っていました。現代が失ったその機能を少しずつ取り戻しながら、ゆるやかなつながりを作る。時間がかかるかもしれませんが、そのような地域づくりを目指しています。皆さまが帰って来たくするような故郷になれば本望です。

### 能代高校東京同窓会 組織図(2021/12/11現在)



数字は通算卒業期 ■ 網掛けはグループ・リーダー ※は兼任 注: 2021/12/11 開催の幹事会にて承認

名誉顧問	26 八柳 昭義
顧問	39 菅原 涉
監査役	34 西川 廣正
監査役	44 庄内 俊憲

■他の各期幹事  
 【24期】山縣輝輔【26期】畠山信孝【29期】宮腰興紀【30期】熊谷幸夫【31期】馬場富男【32期】高谷誠【35期】干場革治【37期】若狭秀巳【39期】大塚進、諸沢隆一【45期】大塚雄蔵、真崎裕【46期】石井喬【49期】片谷浩之、田村盛仁【51期】袴田亘【53期】吉田順【62期】大高忠勉【67期】小野立、滝田祐作

## 恩 師 に 聞 く

### 「3年と2週間と8年3ヶ月」 ～大変お世話になりました～

菊池 一二三 先生

「3年と2週間と8年3ヶ月」、これは私が能代高校に関わった期間です。それぞれにおいて印象に残っていることを思い付くままに綴ります。

#### ●3年

この3年は高校在学の期間です。昭和47年(1972年)4月入学で、49年に校舎が高岡に移転しますので、樽子山校舎で2年半過ごしました。校舎はとにかく古く、痛みが激しかったという印象です。たこ足配線のごとく色々な方向に校舎が配置されており、入学当初は迷路のように感じたものでした。おそらく必要に応じてその都度建て増しされていたのではないのでしょうか。夏にはダニが発生して保健所が消毒に来たこともありました。トイレはアンモニア臭が漂っていました。こんな状態だったので、校舎の新築移転も必然だったのでしょう。

旧校舎や移転時の思い出はまだありますが、その一端は東京同窓会の会報25号に掲載しておりますのでご参照ください。

#### ●2週間

これは母校での教育実習の期間です。校舎移転から5年経過した6月に行ったのですが、初めて教壇に立った時の印象が今でも忘れられません。それはクラスの半数近くが女子生徒で、その全員が白シャツを着ていたということです。私の目にはとても鮮やかに映ったのです。女子生徒数は私の在校時には1学年20～30人程度で、1クラスには多くても10人程度だったので、その増加に驚きました。また、樽子山時代の女子生徒の服装は比較的自由だったように思います。制服はもちろん着用していましたが、その下は黄や青色のシャツ、冬季にはセーターを着ていた生徒もおりました。それが一様に白シャツです。校舎移転を機にいろんな面に変容しつつある母校を感じたのでした。



#### ●8年と3ヶ月

この8年は国語科の教諭としての6年と校長としての2年に分かれます。6年間での大きな出来事としては理数科の誕生が思い出されます。科学技術の振興と理数教育の充実発展のため平成15年に設置され、普通科とのくくり募集をして1年次の10月に希望者を募りました。選考会議を経て生徒を決めたのですが、希望者は定員を上回り、意欲があっても希望を叶えてやれない生徒が出て心痛い思いをしました。もちろん理数科の設置はその後の学習活動の充実や進学面に貢献することになりました。

そして忘れられないことの一つに、女子バスケットボール同好会の設置があります。平成13年に入学してきた1年生女子数名が私のもとに「バスケットボールの活動をしたい」と要望してきました。当時、全校生徒の半数近くが女子で、小学校のミニバスから始まり、ほとんどの中学校でも部活動があるので、多くの経験者が入学しておりました。時代の流れの中、対応しないのも現実的ではないので、まずは愛好会として主に校庭、男バスやバレー部の活動がないときは体育館などで自主的に活動、熱心な姿を周囲に見てもらい、翌14年に同好会として認めてもらうことができたのでした。当初のチームは全県規模の大会でベスト8までいったように記憶しています。ただ、能代北高(現能代松陽高)にはどうしても勝つことができませんでした。それが令和2年の県北新人戦で初めて勝利したことを知ったとき、私には歴史的快挙に思えたのでした。

校長としては、母校の「創立90周年記念事業」を挙行し、それに軟式野球部が全国大会準優勝を果たして周年事業に花を添えてくれたことが最大の喜びであり思い出となっています。

残りの3ヶ月というのは、退職後の令和3年1～3月、非常勤講師として1年生の授業を担当した期間です。少人数学習指導の導入ため1クラス27～28人の生徒たちを前に、一人一人の表情がよく見えて楽しく過ごすことができました。退職時に「最後の授業」を2年生対象に設けてもらいましたが、退職後の1年生への授業が私にとって本当に最後の授業となりました。教育実習で初の授業を母校で行い、こうして最後の授業も母校でできたことをこの上なく幸せに思っております。能代高校はこれからもずっと私の身近にあり続けるように思います。

## 能 高 生 だ よ り

### ～素晴らしい未来への飛躍！松陵健児の活躍の様子～

3年 鈴木 奏太

私は小学校1年生の頃に始めた体操競技を続け、今年で12年目となりました。小中学校までは秋田市の体操クラブで練習をしていて、高校ではもっと上達したいと思い、県内有数の強豪校で練習環境にも恵まれている能代高校に進学しました。

最初は親元を離れての下宿生活に不安もありましたが、先輩方が優しく接してくれてすぐに慣れることができました。練習では、体操クラブでは経験がなかった長時間メニューのトレーニングがあり、慣れるまではとても大変でした。ですが、先輩方に励ましてもらって乗り越えることができ、新しい技の習得にもつながったのでとても嬉しかったです。

部活動最後の年となった今年、男子1人・女子3人・マネージャー1人の5人で活動しています。今年も男子部員が私だけになり、団体を組むことができなくなってしまいました。団体で出場できないことは悔しいですが、全県総体では個人総合で優勝し、インターハイ出場を決めることができました。

8月7日～9日、愛媛県総合運動公園体育館で行われるインターハイは、私にとって最後の大会になります。日々応援し、支えてくれた先生方やマネージャー、家族、お世話になった先輩方など全ての人に恩返しできるよう、悔いの残らない自分史上最高の演技を目指して頑張ります。

(6月執筆)



▲ 全県総体を終えて(右から2人目が鈴木さん)

3年 佐藤 結芽

私は昨年度の理数科の課題研究でコオロギについて研究しました。研究内容は「タンパク質いっぱいのコオロギを食べよう」です。コオロギに与えるエサの成分(主にタンパク質)を変化させるとコオロギの身体を構成する成分は変化するのか、という仮説のもと実験を行いました。大変だったのは飼育観察です。6月から孵化が始まり、そこからの毎日のエサ、水やりと掃除、体長・体重計測は女子3人のグループだったこともあり、叫び声が途絶えませんでした。高校2年生の夏はすべてコオロギに捧げたといっても過言ではないと思います。その後、秋田県立大学や木材高度加工研究所の実験装置をお借りしてコオロギの成分を測定しました。結果として、与えるエサに含まれるタンパク質量が多いほどコオロギに含まれるタンパク質量も多くなり、脂質量は減少することがわかりました。この研究内容は日本農芸化学会2022年度大会ジュニア農芸化学会で銅賞をいただきました。

また、私にはもう一つ目標がありました。それはコオロギを食べることです。中学生の頃から昆虫食に興味があり、この研究を始めようと思ったきっかけがコオロギせんべいだったので、自分でつくってみたいと思っていました。手間暇かけて愛情を注いで育てたコオロギを食べることにためらいはありましたが美味しく食べました。香ばしい海老のような味で食べやすかったです。

近年昆虫食が注目されるようになり、関連した商品を見かける機会が多くなりました。良い意味で予想を裏切る味だと思うので是非一度試してみてください。



「タンパク質いっぱいのコオロギを食べよう」の発表(右から2人目が佐藤さん)▶

# 令和4年度(2022年度)能代高校東京同窓会総会・懇親会のご案内

【日時】令和4年10月1日(土)

受付 12:00~  
 総会 12:20~  
 講演会 13:00~  
 懇親会 13:30~15:00

新型コロナウイルス感染防止のため、懇親会はアルコールなし(ケーキとコーヒーまたは紅茶)で開催します。検温・手指消毒・マスク着用にご協力をお願いします。

【年会費】2,000円

\*世帯割引:夫婦そろって同窓生の場合は一世帯2,000円  
 \*新卒者特例(今年は第92期):1,000円

【懇親会費】2,000円

\*若者特例(第83期~92期):無料(年会費のみ)

\*初参加割引:1,000円

\*東京同窓会以外の同窓生、友人、家族:懇親会費のみ

◎各会費はお振込、または当日受付にて受領します。

◎同封の郵便払込票を利用の場合は本会が手数料を負担しますが、ゆうちょ銀行の料金改定により、現金で入金されるときは払込人に110円ご負担いただきます(別紙をご参照ください)。

【出欠】

同封のはがきにご記入のうえ9月20日(火)までに投函していただくか、スマートフォンをご利用の方は、はがきに印刷されているQRコードを読み込んでメールフォームに記入して返信してください。あわせて「オンラインによる諸手続きのお願い」も参照してください。

## ◆若手対象の参加促進助成金があります

\*若手同窓会員を対象とした同窓会活動参加促進事業があります。この制度により、今年は第83期から92期までの会員は同窓会本部からの助成金を利用し、懇親会費は無料とします。  
 \*懇親会費無料適用は該当10年間のうち2回までとします。  
 \*東京同窓会の年会費は第92期の卒業生は1,000円、それ以外の卒業生は2,000円です。  
 \*参加促進事業については、能代高校同窓会会報『松陵』第29号(平成29年12月発行)に掲載されており、その文面は東京同窓会ホームページでも公開しています。

## ◆オンラインによる諸手続きのお願い

東京同窓会では経費削減の一環として、諸手続きのオンライン化を導入しております。皆様のご協力をお願いします。

①同窓会・懇親会への出欠届け、会員の方の変更届け等  
 東京同窓会のホームページ(トップページ)から「住所変更・新規登録」をクリック/タップして、「入力フォーム」に記入してください。

※住所やメールアドレスの変更があったときは、必ず事務局までお知らせください。そのままですと会報誌や総会案内などが届かなくなります。インターネットをお使いでない場合は回答はがきでお知らせをお願いします。

②同窓会出席者向けのアンケート

総会終了後、東京同窓会ホームページにアンケートのフォームを用意しますのでご回答をお願いします。今後の会の運営の参考にします。http://shoryokenji.web.fc2.com

【会場】アルカディア市ヶ谷 3階 富士の間

JR/地下鉄(有楽町線・南北線・都営新宿線)市ヶ谷駅より徒歩3分  
 千代田区九段北4-2-25 電話 03-3261-9921  
<https://www.arcadia-jp.org>



## 講演会

### 「食の未来～食ビジネスを取り巻く機会と脅威～」

講師：法政大学名誉教授  
 小川孔輔さん(第40期)

- はじめに：21世紀の基本トレンド/  
 食ビジネスを取り巻く機会と脅威
- 第1部：食の持続可能性を考える
  - 第2部：アメリカの食・農の地域ネットワーク
  - 第3部：農と食のイノベーション
  - 第4部：ロックフィールドのサラダ革命



#### 《講師プロフィール》

おがわ こうすけ 法政大学名誉教授、一般社団法人日本フローラルマーケティング協会(JFMA)会長、株式会社アールビーズ社外取締役、有限会社オフィスわん代表取締役。  
 1951年能代市追分町出身。能代市立能代第二中学校卒。東京大学卒。2000年に日本フローラルマーケティング協会(FMA)、2006年にMPSジャパンを創立、トヨタやローソン等各企業のコンサルティングや講演も行っている。著書には実践的テキストの『マーケティング入門』、総業で有名なRF-1の50年の奇跡をまとめた『青いりんごの物語』等多数。

# 令和4年度(2022年度)会費納入者(2021年8月以降に会費納入があった方)

【24期】山縣輝輔(二中)、豊田誠(鹿渡) 【25期】栗原俊一(一中)、畠豊彦(一中)、工藤尊久(鹿渡)、町次男(鹿渡) 【26期】伊藤倫子(二中、北秋田市から)、佐々木高博(二中)、畠山信孝(鶴川) 【27期】栗原優子(二中、旧姓泊川)、檜森寛(鶴川)、大村真陸郎(浜口)、石嶋喜直(岩館) 【28期】須田正巳(二中) 【29期】塚本祝永(二中)、嶋田雄右(二中)、宮腰興紀(一中) 【30期】熊谷幸夫(一中) 【31期】馬場富男(二中、旧姓工藤)、熊谷博雄(二中)、柴田光夫、岸部武彦(八森)、小田幸雄(二中、宮城県から) 【32期】高谷誠(深浦)、田中正敏(鯉川) 【33期】堀内忠人(岩崎)、金田英成(一中)、清水靖子(八森) 【34期】棚橋東峰(一中)、畠山昇(浜口)、斎藤彰悟(一中) 【35期】梶修(二中)、川添能夫(一中)、横田真理子(一中、旧姓腰山)、干場革治(八森) 【37期】辻敏(一中)、若狭秀巳(森岳)、今野廣隆(浅内)、山田達則 【38期】荒川久敏(二中)、赤塚剛(一中)、戸松伸一(一中)、福田満男(一中)、松谷康雄(一中)、能登洋一(二中)、菊地忠美(東雲)、佐藤春香(常盤)、佐藤則男(一中)、市川正敏(二中、旧姓北島)、袴田忠夫(二中)、金野正道(響) 【39期】住吉修平(一中)、持田訓(一中)、金野峻明(一中)、菅原渉(下岩川)、直嶋博明(東雲)、田村敏雄(一中)、諸沢隆一(一中)、大塚進(二中) 【40期】増田春樹(八森)、小松文明(一中)、小林哲(東能代)、高橋博美(森岳)、智田農(富根)、北川雅夫(埴川) 【41期】佐藤治(東雲)、小河範也(二中)、田中亨(響) 【43期】須藤正喜(八森)、福岡武(二ツ井)、高橋敦子(東能代、旧姓渡辺)、幸坂和彦(常盤)、石塚信一(一中)、白木仁(八森)、菊池忠夫(藤里)、五代儀彦秀(鷹巣) 【44期】伊川美津広、庄内俊憲(八森)、渡辺隆幸(琴丘)、森岡雅信(二中) 【45期】河田昌俊(一中)、鎌田泰宏(二中)、大塚雄蔵(二中)、袴田邦夫(二中)、三浦洋(森岳)、原田康男(浅内)、井上清起(一中)、嶋田清人(一中、山梨県から)、小杉山乙矢(一中、静岡県から)、高松武史(金岡)、相澤正和(一中、静岡県から)、真崎裕(二中)、山谷めぐみ(二ツ井)、港基樹(常盤) 【46期】吉田真由美(一中、旧姓工藤)、大山望(二中)、鷲谷太郎(一中)、平川尚(一中)、秋林泰樹(二ツ井)、佐藤康准(一中)、清水文彦(一中、福島県から) 【47期】大久保昭佳(一中)、野村一哉(二中)、小林典雄(二中)、大槻務(東能代)、越中谷真喜(一中)、山田肇(一中)、腰山達哉(八森) 【48期】小林金雄(東能代、能代市から)、野村松信(檜山、秋田市から)、淡路正則(一中)、相川文治(二中)、安田守(二中)、藤田幹也(二中)、小嶋覚(二ツ井) 【49期】近藤敏仁(下岩川)、佐藤互(二中)、鎌田健二(一中)、大塚聡子(一中、旧姓佐藤)、薄井司(鶴形、能代市から) 【50期】佐藤孝也(一中)、石井鉄美(一中)、村井清蔵(一中) 【51期】平塚征悦(東雲)、平塚佐智子(東能代、旧姓浅野)、袴田亘(二中)、村田祐子(二中、旧姓山内)、鶴谷則子(東雲、旧姓佐々木) 【52期】井舘正彦(二中) 【53期】吉田順(一中) 【54期】遠藤いぶき(東能代、旧姓畠山)、佐藤周之(一中)、佐藤弘孝(八竜)、佐藤篤規(二中) 【55期】淡路和子(一中) 【59期】畠山真吾(山本) 【62期】大高忠勉(峰浜) 【66期】高橋弘志(二ツ井)、畠山幸(田代) 【68期】幸坂智子(能代南) 【87期】佐藤友希子(二中) 【88期】佐藤美那子(二中)

●年会費世帯制の適用者は両名の名前を掲載しました。●このページは敬称を略しました。

●カッコ内の出身中学校名は卒業当時の校名。

●東京同窓会名簿に出身中学校を登録されていない方は、総会出欠のご連絡時にお知らせください。

**株式会社グッドライフケアホールディングス**

『住み慣れた自宅で最後まで暮らしたい』そんな願いに、様々な在宅支援サービスで寄り添います。

GOOD LIFE CARE

東京都中央区新川 1-23-5 SHINKAWA EAST 3階  
 TEL 03-3537-0790(代表) FAX 03-3537-0791

湯島で同窓生に会える店

**あく・季節料理 上野 まくち**

通算43期(新制25期) 菊池忠夫 白神山(藤里町)出身

千代田線湯島駅6番出口 徒歩1分  
 (大手町から北千住へ向かって最後方出口)  
 東京都台東区上野1-12-2  
 亀田ビル1F 〒110-0005

ご予約をおすすめします  
**03-3839-3382**

## 会員だより

### 医療現場から見たコロナ禍

第47期 小林 典雄

同窓会の皆様・諸先輩方、大変御無沙汰しております。近況を御報告いたします。

この2年余り医師として、小さな医療機関の管理者として、そしてひとりの個人事業主として様々な事を経験いたしました。皆様方のなかにも数々の困難な事に直面したり、体調不良などに悩まされてきたりした方もいらっしゃるのではないかと拝察いたします。

感染の拡大、というより陽性確認者の数は一進一退のような感がありますが、感染しても重症化する患者さんの数や人工呼吸器の稼働数は著明に減少している傾向にあります。

軽症の方がほとんどになってきたとは言え、この感染症は私たちの生活や心身に少なからず爪痕を残してきたと感じます。内科医として最も感じるのは外出機会や身体活動の低下によって、いわゆる生活習慣病の状況が悪化している方が多いという点です。高血圧や糖尿病・高脂血症などの指標が悪化したり、体重や腹囲が増えたりしたという患者さんが多くいらっしゃいます。さらには友人や親族に会う事を含め対人的・社会的な活動が減った事によるメンタル面の不調という事も無視できません。病院や施設での面会制限のために回復が遅れた・認知症が進んでしまったというようなケースもあります。

現在でも私たちの心には感染症全般に対する不安や恐れが残っていて、対面での接触や自由な行動に抵抗を感じてしまうのも無理は無いのだと思います。しかし、人間は仲間とともに生きる存在です。困難さや潜在意識を乗り越え、再び笑顔と活気のある交流を取り戻す時期に来ているのだと思います。

私の仕事の合間の息抜きは主にスキーとゴルフで、機会があれば旅行を楽しんできました。この2年は思うようになりませんでした。今後は徐々にそして積極的に再開し、同窓会も含めて交流の場にも参加して行こうと考えております。お目に

かかるのを楽しみにしています。どうぞ宜しくお願いいたします。

### 久しぶりの幹事会出席

第48期 北林 蒔子

6月初めの土曜日、何年ぶりに能代高校東京同窓会の幹事会に参加させていただきました。5年前に、仕事の都合で東京を離れて、自宅を東京に残ってあったので、いつでも戻って来られるし、定年になったらまた東京に戻るからと軽い気持ちで東京を離れました。

その後、家を売却となり、その直後から、新型コロナウイルス感染症拡大という、生きているうちにこんなことが起きるのだろうかと思うほどの状況に陥り、東京に帰ることは仕事の責任上不可能となってしまいました。今回の参加は、幹事会が対面で行えるというタイミングと、家庭の事情での上京のタイミングが合い、何年かぶりの参加が叶ったというわけでした。

久しぶりの幹事会の参加は懐かしさでいっぱいだったし、久しぶりなのに、普通に何の壁もなく受け入れてくださることがうれしかったです。皆さんに会うとそれなりに月日の経過は感じるのですが、それでもあの高校時代の自分に会えます。こんな時代だからこそ、同窓生という絆の心地よさと高校時代の自分に会いに東京同窓会に参加してみたいかがでしょうか。

### 上京し秋田を歌う

第74期 塚本 崇瀬

8年前に上京し、すぐ音楽の仕事などあるはずもない。配達アルバイトの当時29歳。当たり前のように焦りはありました。

上京前、歌修行のため渡米。将来の当てなどなく背水の陣でしたが、ただただ自分の歌声に希望を抱きました。アメリカでは想像以上の経験が待っていました。縁があってニュージャージー州にある黒人教会を紹介いただき、自分のアメリカ修行



はとても充実しました。ダイレクトに黒人文化を感じ、その中でゴスペルを歌い賛美出来た事は現在の音楽活動の礎です。

帰国後、すぐ上京し、配達員として生活する中でゴスペル講師としてキャリアを始めないかとご縁をいただきました。人に物事を教えるなど自分には到底向かないと思っていた事だったが、ゴスペルを歌う上で伝導していきたい思いがあった自分には必要なプロセスではないか、と気付かされ、講師として鍛錬の日々が始まりました。

少しずつ都内で講師としての活動が増える中、地元からもオファーをいただくようになり、歌う楽しさを伝えたいと有志とともに立ち上げた“三種ゴスペル”を発足。これを基盤に沢山の小学校や催しで一般の方々や歌声を合わせる事ができました。

これと同時にシンガーとしての活動も増え、東京では多数のライブで用いられ、地元秋田では「軽トラでゆこう」「MAMAKE」といった秋田を歌った楽曲を愛していただいています。

地元で音楽家として用いられるというのは自分にとってこれ以上ない強みです。スピード感と刺激に溢れる都会での生活は切磋琢磨する上で大事です。一方、情報が少ない田舎で、歌をきっかけに様々な世代が交流出来るコミュニティを作っていく楽しさが地元であり、それはとても尊く純粋な作業だと感じます。

秋田を歌って、秋田に住む人と一緒に歌って、今のミュージシャンとしての生活に辿り着けている事に、秋田への感謝が絶えません。

近々、また都内でライブがありますが、力強くソウルフルに歌い上げます。自分のバックには秋田が付いてますから。

### 雨天でも元気ハツラツ

～能球会活動報告～

第50期 石井 鉄美

能球会では、コロナ禍の中断をはさんで毎年春と秋にゴルフコンペを開催しています。2022年春の会は4月20日に千葉セントラルゴルフクラブで開催しました。

今回は都合がつかない方がおられ、やや少ない人数での開催となり、おまけに当日は雨にた

たられた会になってしまいましたが、参加者はみな元気いっぱい。

29期の先輩方3人は傘寿を過ぎてなお、お元気にレギュラーティーからラウンドされていました。後半、見事なショット連発で好スコアをたたき出した菅原さん(39期)が優勝。

今回は10月に開催予定です。参加希望の方はお問い合わせください。フェイスブックに能球会のグループもあります。

「生涯スポーツ」であるゴルフをみなさんで楽しみましょう。



4月20日のコンペにて、赤と青の傘をさして気分は晴れやかに(撮影：石井鉄美)

### 東京同窓会の同好会

東京同窓会には以下の同好会があります。参加希望や新たな同好会の提案等は事務局へご連絡ください。メールアドレス：NoshiroHTR@gmail.com

#### ◇能高五日会

若手同窓生(第45期より下)の親睦と交流を目的にした懇親会を開催。代表者：清水洋志(第66期)

#### ◇樽子山会

樽子山校舎を卒業した世代が各期を越えて参集し懇談します。代表者：熊谷幸夫(第30期)

#### ◇能球会

東京近郊のコースでゴルフを楽しんでいます。代表者：石井鉄美(第50期)

#### ◇能高釣クラブ

自然を満喫しながら、溪流釣を楽しみます。代表者：小河範也(第41期)

#### ◇東京探訪の会

あまり触れることのない「東京」を訪ね、約2時間のコースを散策。代表者：吉田真由美(第46期)

#### ◇能高バスケの会

能代カップ等の観戦、本校バスケットボール部やOB会との交流など。代表者：片谷浩之(第49期)

令和4年度(2022年度)収支決算報告書(2021年8月1日~2022年7月31日)

収入の部			支出の部		
項目	予算	決算	項目	予算	決算
総会収入	0	0	総会費	260,000	225,936
会費収入	300,000	296,000	組織拡張費	7,100	0
雑収入	19,150	9,008	一般管理費	52,050	33,245
当期収入合計	319,150	305,008	当期支出合計	319,150	259,181
			当期収支	0	45,827
			前年度繰越金	1,248,431	1,248,431
			翌年度繰越金	1,248,431	1,294,258

★会報には簡易版を掲載しています。総会資料、東京同窓会ホームページでは詳細をご覧ください。

【会報はホームページでも公開中】

■東京同窓会の会報は第1号からすべてホームページで、PDFで公開しています。お手もとない号は、トップページから「会報」の項を選んでご覧ください。まだ会報をご覧になったことがないお知り合いの同窓生にもお勧めいただければ幸いです。第15号以前は誌面からのPDF化のため少し読みにくくなっていますが、何卒ご了承ください。

<http://shoryokenji.web.fc2.com>



【東京同窓会事務局へのご連絡】

■能代高校東京同窓会事務局へのご連絡はEメールでお送りください。

専用メールアドレス：NoshiroHTR@gmail.com

スマートフォン等をお使いの際はこちらのQRコードをご利用ください。東京同窓会ホームページからもリンクしています。新規登録や住所変更は専用フォームがあります。



【会費納入のお願い】

◎会員の皆様から戴いている年会費は主に会報の発行と、幹事会や総会開催に掛かる費用に充当されています。今後とも納入にご協力をお願いいたします。

●年会費は2,000円です。

以下の納入方法があります。

①郵便振替払込(手数料は同窓会が負担)

会報に同封した赤色の用紙を利用して現金で入金の場合は、2022年1月のゆうちょ料金新設・改定により、払込人に「現金利用時の加算料金」110円がかかります。通帳・カードを使用すればかかりません。別紙参照。

- ・日本郵便のATMを利用(手数料152円)
- ・日本郵便の窓口を利用(手数料203円)

②ゆうちょ銀行へ振込

下欄「年会費振込先」に記載している口座へお振り込みください。振込手数料はご負担願います。

ゆうちょダイレクトをご利用の方は、インターネット経由で送金すると手数料は無料です。振替払込の手数料分が同窓会の経費削減につながります。

なお、送金・振込時には名前の前に卒業期(通算)の数字を添えていただくと助かります。(例：45ミウラヒロシ)

③総会の会場で納入

受付で現金をお預かりします。

2022年 千葉工業大学は創立80周年



世界一!

'21/'22ロボカップ・バーチャルサッカー 優勝

(RoboCup Humanoid League Virtual Season 2021/22)



千葉工業大学  
CHIBA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

WEBでCHECK! >  
TEL.047-478-0222(入試広報部)  
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1



松陵健児

能代高校東京同窓会 会報 第32号

発行日 2022年9月1日  
発行 能代高校東京同窓会  
発行責任者 三浦 洋  
編集 会報誌グループ  
印刷 株式会社 毎栄

■能代高校東京同窓会事務局

〒270-2212  
千葉県松戸市五香南 1-16-11 三浦洋方  
E-mail: NoshiroHTR@gmail.com  
Website: <http://shoryokenji.web.fc2.com>

■年会費振込先

●郵便払込口座番号 00150-7-27459  
加入者名 能代高校東京同窓会  
●ゆうちょ銀行 〇一八(ゼロイチハチ) 支店  
普通預金 5914261  
名義 能代高校東京同窓会